

# COVID-19 の市中の流行状況と医療従事者の流行状況の比較 (後向き観察研究)

## 1. 研究へのご協力のお願い

当院では、最新の(最善の)医療を患者さんに提供するとともに、より良い治療法や診断法などを開発するための臨床研究を行っています。患者さんに参加していただき、治療方法や診断方法が有効であるか、あるいは安全であるかを調べることを臨床研究といっています。

## 2. 研究の背景

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が2020年初頭から日本で流行し始め、2023年2月現在でも流行が続いています。市中の感染状況が悪化するにつれて、医療機関での職員の感染も大きな問題となります。一般に医療従事者は一般市民と比較して衛生概念や感染予防の意識が高く、市中での感染率は低い傾向にあることが知られていますが、一方でCOVID-19患者を診療する医療機関が職場であり、感染リスクが高くなることも懸念されています。医療現場においては、職種や部署による感染リスクの違いも指摘されています。

市中の流行状況とCOVID-19の診療に携わる医療機関に勤める医療従事者の流行状況には差異があると推測されますが、その実態は明らかではありません。

そこで今回私達は、市中の流行状況と当院の医療従事者の流行状況を比較し、その特徴について調べることにしました。

## 3. 本研究について

この研究は、2020年1月から2023年2月末までに市中でCOVID-19と診断された患者数と同じ期間にCOVID-19と診断された当院の医療従事者の数を比較し、流行波の形成時期や形成状況を比較します。

対象となるのは、当院でCOVID-19と診断された医療従事者となります。

過去のデータを収集するため、本研究に参加することで新たに治療・検査が追加されることはありません。

この研究で得られた情報により、一般市民と医療従事者でCOVID-19の罹患状況の違いを明らかにすることが期待されます。

## 4. 研究の参加はあなたの自由意志を尊重します

この研究にご自身のデータを使用されたくないと思ったときには、いつでもご連絡ください。

## 5. プライバシーの保護について

この研究で得られた情報は、医学雑誌などで公表されることがありますが、お名前や個

人的な情報は一切わからないようにいたします。また研究中のデータに関しても、外部に漏れないように厳重に管理いたします。

## 6. お問い合わせ先について

この研究についてわからないことや、聞きたいこと、またなにかご心配なことがありましたら、いつでも遠慮なく担当医師におたずねください。

また、病気や怪我などで他の治療を受ける時、より詳細な研究の計画、研究の方法についてお知りになりたいときにも、担当医師までご連絡ください。なお、この研究に参加している方の個人情報や、研究の知的財産などには、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

### 【お問い合わせ先】

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 呼吸器内科・感染症内科

〒612-8555

京都府京都市伏見区深草向畑町 1-1

TEL: 075-641-9161

Email: kfujita.acd@gmail.com

研究責任者：呼吸器内科・感染症内科 医長 藤田浩平